

第6学年 道徳学習指導案

- 1 主 題 よりよく生きる (D-22 よりよく生きる喜び)
- 2 教 材 「カーテンの向こう」*「明るい人生 1年」愛知県教育振興会

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人間のもつ心の美しさ、信念をもって生きる人間の姿、気高く崇高な行為に接したときの感動は、人の心の有り様や今後の生き方に大きな影響を与える。そして、この感動は、自分の在り方や生き方について見つめ直し、「この人のようにになりたい」「このように生きてみたい」という憧れや目標となり、生きる希望や向上心へとつながると考える。

本教材は、治る見込みもないであろう重症患者たちが入院している病室での話である。「わたし」の心の変化に沿って読み進めることにより、人間の揺れ動く様々な感情を知ることができると同時に、ヤコブの生き方をドラマチックにとらえることができる。「カーテンの向こう」はなんと「レンガの壁だった」という結末は、想像し思い描いていた光景とは全く違う衝撃的なものである。真実を知ったことから見えてくるヤコブの行為への感動、その背景にある思いのすばらしさにふれることで、人間のもつ行為の美しさや気高さに気付くであろう。この教材は、身近な問題ではなく、追体験的に考えることが難しい教材であるので、「わたし」を自分に置き換えて今後どうするかを考えさせることにより、人がよりよく生きるためには、「他者を愛すること」や「希望」が必要であること、また、人は誰でも、他者に希望を与え、役立つ生き方ができるということを感じ取らせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級の児童は、男女の仲もよく、わりとまとまりのある集団である。しかし、QU テストの結果からは、自己肯定感が低く、自分の考えで行動できる児童が少ないという実態が見えてきた。そこで、毎月、目標に向かって生活することや友達からよかったところをコメントしてもらう活動と、最高学年として学校のためにできることを自分たちで考え実行する「自分たちからプロジェクト」と名付けた活動を行っている。これにより、自己肯定感を高めることや自分の考えで行動することの大切さを感じ取らせるようにしてきた。さらに、異学年交流を通して他学年との関わりを増やしている。少しずつではあるが、がんばることができる自分に気付いたり、友達や低学年の児童に認めてもらえたり信頼されたりすることに喜びを感じてきている。また、自分のやっていることが学校のために役立っていると感じることは、最高学年としてのよりよい生き方につながりつつある。ここで、人としてよりよく生きることについて考えることで、今後の活動が、さらに温かい人間関係の構築や自他を大切にす行動、他のために役立つ行動につながることを期待したい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

ヤコブの真の生き方に気付き、人間にはよりよく生きようとする強さや気高さがあることを知るとともに、自分自身の生き方を見つめようとする心情を育てる。

(2) ねらいにせまる手立て

「わたし」がヤコブの立場になったときにどうするかを考えさせることにより、ヤコブの行為の背景にある考えや生き方のすばらしさにふれさせる。

(3) 本時の展開

展開	学習活動	指導上の留意点(下線:ねらいにせまる手立て)
気 付 く	1 情景図を見て、教材の内容に興味をもつ。 ○ 今日は、外国の病院でのお話です。	・本時の教材の中心となる登場人物が「ヤコブ」と「わたし」であることを知らせる。 ・黒板横の情景図を見て、気付いたことや想像する患者の気持ちを、自由に発言させる。
3 分	・重症患者 ・治る見込みがない ・閉ざされた部屋 ・窓がたった一つ	

<p>さ ぐ る</p> <p>3 7 分</p>	<p>2 授業者の範読を聞き、教材把握をする。</p> <p>(1) 前半部分の「わたし」の気持ちを考える。</p> <p>○ ヤコブが外の様子を話してくれているとき、「わたし」はどのような気持ちだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像すると楽しい ・外を見てみたい ・暗い病室が明るくなる感じがする ・故郷や家族を思い出すことができて幸せな気分 <p>○ 死に際のニコルの申し出を無視したヤコブを「わたし」はどう思っただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代わってあげてほしい ・かわいそう ・冷たい人間だ ・わがままで ・どうしてゆずらないのだろう <p>(2) 窓の外の景色を見た後の「わたし」の気持ちを考える。</p> <p>○ やっとの思いでカーテンの向こうを見たとき、「わたし」はどのようなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ショック ・びっくりした ・ ヤコブのことを恨んで申し訳ない ・ ヤコブを憎んだ自分が恥ずかしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語りによる授業展開で教材中のキーワードを黒板に提示しながら、全体で教材の共通理解を図る。 ・ 結末部分を印象付け、中心発問についてより深く考えることができるように、教材は前後半に分けて提示する。 ・ ヤコブの話が、みんなの生きがいになっていることに気付かせる。 ・ ヤコブに対する「わたし」の気持ちに変化していることをとらえさせる。 ・ 人間には、誰にも利己的な部分や弱い部分があることに気付かせる。 ・ カーテンをめくるとレンガの壁が見える教具を用意して視覚的にも訴えることで、衝撃的な結末を印象付ける。 ・ 自分がヤコブの立場になって初めて気付いたヤコブの気持ちや考えについて、十分に考えさせる。
<p>窓の外の様子を話してくれと言われたら、「わたし」はどうするだろう。</p>		
	<p><立場①>ヤコブの話は作り話であったことを伝える。</p> <p><立場②>何も伝えない。</p> <p><立場③>ヤコブのように作り話を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①自分が本当のことを知ったらショックだったから、みんなにも本当のことを知らせて、こんな思いをさせない方がよいと思う ・ ②本当のことを伝えたらみんながショックを受けるから伝えられないけれど、うそもつけない ・ ③ヤコブのように、病室のみんなに夢や希望をあげたいから、ヤコブと同じように作り話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>3つの立場を提示し、立場と根拠をワークシートに記述させる。</u> ・ 「わたし」を自分に置き換えて、<u>どのような行動をとるかその理由も含めて考えさせる。病室の仲間のためにどのような行動が最善であるかを考えさせる。</u> ・ 3つ以外にも行動を考えた場合は、それも認める。 ・ 名前カードを活用し、どの立場を支持するかを明らかにしてから、グループトークを行わせる。 ・ グループトークで他者の多様な考えにふれさせる。 ・ それぞれの立場の考え方を意図的指名も交えながら全体の場で発表させることで、さらに考えを深めさせる。 ・ 3つの行動の共通点を見付けることで、どの行動も強い意志や勇気をもった行動であり、他者のことを考えた行動であることに気付かせる。 ・ 使命を果たすために、信念をもって行動し、病室の人々の様々な視線に耐えたヤコブの思い（人間愛）に目を向けさせる。

見 つ め る 5 分	<p>3 自分を見つめる。</p> <p>○ 今日の授業で考えたことや気付いたことをまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤコブの行動や生き方、自分や友達のかえた行動をどう思ったか、それを今後の自分にどう生かしたいかをワークシートにまとめさせる。 ・数名に発表させて友達の考えのよさに気付かせ、今後のよりよい生き方の参考にさせる。
----------------------------	--	--

(4) 評価

ヤコブの真の生き方に気づき、人間にはよりよく生きようとする強さや気高さがあることを知るとともに、自分自身の生き方を見つめることができたか。

(5) 板書計画



ワークシート

道徳の授業 ワークシート 年 組 番 名前

1

2

情景図

